

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科					
科目名称	特別支援教育					授業形態	講義			
科目コード	421120	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング		
担当教員名	川田 耕太郎								ICT活 用	
授業概要	<p>本授業の目的は、特別支援教育の基礎的な専門性を養うことである。 特別支援学校等での指導経験を活かし、学校の現状を踏まえながら特別支援教育についての理解を図る。 具体的には、障害の捉え方と特別な指導を必要とする児童生徒に対する指導・支援の在り方について学ぶものである。</p>									
関連する科目	障害児教育入門									
授業の方法と進め方	<p>授業は、プレゼンテーションを用いた講義を中心としながら、グループによるディスカッションや意見交換を行い、学生が自ら考えたり、他者と協議したりすることで思考を深めていく機会を設けます。</p>									
授業計画【第1回】	<p>障害とは何か 障害とは何なのか、その定義や捉え方について学ぶ。</p>									
授業計画【第2回】	<p>ICFによる障害の捉え方 国際生活機能分類による障害の捉え方について学ぶ。</p>									
授業計画【第3回】	<p>発達障害 LD・ADHDについての基本的な理解と指導・支援の在り方について学ぶ。</p>									
授業計画【第4回】	<p>発達障害 自閉症についての基本的な理解と指導・支援の在り方について学ぶ。</p>									
授業計画【第5回】	<p>視覚障害・聴覚障害 視覚障害と聴覚障害についての基本的な理解と指導・支援の在り方について学ぶ。</p>									
授業計画【第6回】	<p>肢体不自由・病弱 肢体不自由と病弱についての基本的な理解と指導・支援の在り方について学ぶ。</p>									
授業計画【第7回】	<p>言語障害・情緒障害 言語障害と情緒障害についての基本的な理解と指導・支援の在り方について学ぶ。</p>									
授業計画【第8回】	<p>知的障害 知的障害についての基本的な理解と指導・支援の在り方について学ぶ。</p>									
授業計画【第9回】	<p>重度・重複障害 重度・重複障害についての基本的な理解と指導・支援の在り方について学ぶ。</p>									
授業計画【第10回】	<p>発達障害 LD・ADHDについての基本的な理解と指導・支援の在り方について学ぶ。</p>									
授業計画【第11回】	<p>発達障害 自閉症についての基本的な理解と指導・支援の在り方について学ぶ。</p>									

授業計画 【第12回】	学校で生じている行動上の困難さの理解と対応 行動面の困難さの背景と必要な対応について学ぶ
授業計画 【第13回】	学校で生じている学習上の困難さの理解と対応 学習上の困難さの背景と必要な対応について学ぶ
授業計画 【第14回】	個別の指導計画、個別の教育支援計画 2つの計画による指導・支援の充実と、情報共有の在り方について学ぶ
授業計画 【第15回】	特別支援教育の現状と課題 特別支援教育の現状について再確認し、今後の特別支援教育に在り方について学ぶ
授業の到達目標	1. ICFに基づいて障害の捉え方を説明することができる。 2. 発達障害を始め様々な障害について理解し、支援の在り方について考えることができる。 3. 授業中のディスカッションや振り返りで、自分の意見をもち、他者と共有しながら考えを深めることができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外の学習 【予習】	授業の中で自分の考えや他者との話し合いを求めため、各自で授業内容について確認や予習しておく。(30分程度)
授業時間外の学習 【復習】	受講後は小テストを複数回実施するので、学習内容を確認、復習しておく。(1時間程度)
課題に対する フィードバック	小テストは評価後、返却及び解説をする。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 授業に臨む態度と小テスト等の内容(20%) 2) 定期テスト(80%)
テキスト	テキストは使用せず、適宜プリント等を配布する。
参考書	・文部科学省 障害のある子供の教育支援の手引 ・文部科学省 特別支援学校学習指導要領解説 総則編(幼稚部・小学部・中学部) ・文部科学省 特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編(小学部・中学部) ・文部科学省 特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編(小学部・中学部・高等部)
備考	15年間、特別支援学校(知的障害、肢体不自由、病弱)、3年間、小学校に勤務。また、4年間、鹿児島県総合教育センター特別支援教育研修課において研究主事兼指導主事、4年間、鹿児島市教育委員会において特別支援教育担当指導主事として勤務した。